

体験学習

白砂のビーチで学ぶ ～海洋ゴミとマイクロプラスチック～



沖縄×SDGs



地球の面積の7割を占めている海。そこに漂流する海洋ゴミの問題は世界が取り組むべき課題となっています。綺麗な海が広がる沖縄のビーチでも、世界中のゴミが打ちあがります。本プログラムでは、そうした現状に目を向け、体験することを通じて、課題について考えるきっかけを提供します。

期 間	通年可能
時 間	9 : 0 0 ～ 1 8 : 0 0 (要相談)
所要時間	1 時間 3 0 分
会 場	八重瀬町周辺地域
人 数	4 0 名 (1 クラス) ～ 1 6 0 名 (4 クラス)
料 金	生徒 1 人につき 1 , 6 5 0 円 (税込) ※別途会場費
備 考	・雨天時はワークショップと講義のみとなります。 ・軍手とゴミ袋をご持参ください。
お申込み 問い合わせ	NPO法人自然体験学校 TEL : 098-998-0330 FAX : 098-998-3808 https://www.shizentaiken.com

～ 体験の流れ ～

ビーチクリーン



白砂がキラキラと輝き多くの旅行者を魅了する沖縄のビーチ。産卵のためにウミガメも上陸します。しかし、そこには毎日、世界中のゴミが打ちあがります。ビーチクリーンを通じて、海洋ゴミの現状を体験します。

バスに乗って講義会場へ移動となります

講 義



自然体験学校のスタッフが海洋ゴミとマイクロプラスチックについての講義を行います。講義を通じて、フィールドワークで感じたこと・学んだことへの理解を深め、日々の行動へと繋げることができます。



講義会場では、ディスカッション、マイクロプラスチックを取り出すワークショップの実施も可能です。体験時間を調整をさせていただく場合がございますので、事前にご相談ください。

体験学習

～ 沖縄の自然に触れる 森のフィールドワーク～



沖縄×SDGs



亜熱帯性気候かつ、島しょという地理的な条件から、貴重な生態系が今も残る沖縄。開発により人々の生活が便利になる一方で、こうした自然は少しずつ姿を消しています。本プログラムでは、遊歩道のガイドツアーを通じて、自然環境の保全について考えます。

期 間	通年可能
時 間	9：00～15：00（要相談）
所要時間	2時間
会 場	八重瀬町周辺地域
人 数	2名～40名（1クラス）
料 金	1人につき2,200円（税込）
備 考	・動きやすい服装・靴でご参加ください
お申込み 問い合わせ	NPO法人自然体験学校 TEL：098-998-0330 FAX：098-998-3808 https://www.shizentaiken.com

陸の豊かさについて考える

沖縄に棲む動植物は、海によって隔たれた特殊な環境に、適応するため、独自の進化を遂げてきました。固有種の種類が多い一方で、その個体数は少なく、貴重な生態系の保全をするための取り組みが急務とされています。

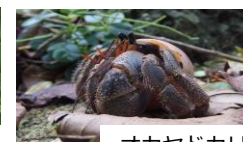
フィールドの紹介



沖縄本島のほぼ南端に、地元の人から「木口ホローの森」という名で親しまれている森があります。この森で確認されている動植物の数はなんと約100種類。森の中には、海まで続く、全長約600mの遊歩道も整備されており、亜熱帯の雰囲気を感じられる沖縄の自然を手軽に楽しむことができます。



シリケンイモリ



オカヤドカリ



アオミオカタニシ



オオゴマダラ



ツバニチョウ



ナナホシキンカメムシ

体験学習

～ 八重瀬町の自然と戦跡で学ぶSGDs～

沖縄×SDGs



八重瀬町・ぐしちゃん地域には手つかずの自然や沖縄戦の戦跡が残されています。本プログラムでは、こうした地域の資源をSDGsの観点からガイドが解説しながら巡ります（約1.5kmの距離を歩きます）。

期 間	通年可能
時 間	9：00～15：00（要相談）
所要時間	約3時間 ※人数により要調整
会 場	八重瀬町・具志頭（ぐしちゃん）地区
人 数	定員20名（最小催行人数8名）
料 金	1人につき3,300円（税込・ガマ入壕料込）
備 考	軍手・ライトの持参をお願いします。
お申込み 問い合わせ	NPO法人自然体験学校 TEL：098-998-0330 FAX：098-998-3808 https://www.shizentaiken.com

～ 体験の流れ ～

①ガマ入壕体験



琉球石灰岩で形成されたクラシンウジョウ壕は、かつて人々の生活の場として親しまれ、戦時には、日本軍の陣地壕として利用されました。沖縄戦の背景から、これからの平和について考えます。

②サンゴ礁地が残された砂浜の散策



沖縄の周囲を取り囲むサンゴ礁。旅行者を魅了する美しい砂浜や、琉球石灰岩として、沖縄の人々の生活にも生かされています。砂浜散策を通して、人と自然との関わり、海洋保全について考えます。

③貴重な生態系が残る森の散策



都市化が進む沖縄南部に残されたホコホローの森。ここでは約100種類の動植物が確認されており、貴重な生態系が残されています。森のガイドツアーを通して森林保全について考えます。

